
俺は世界を呪う、世界は俺を呪っている 2

夏のサンタクロース

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺は世界を呪う、世界は俺を呪っている2

【Nコード】

N1801D

【作者名】

夏のサンタクロース

【あらすじ】

青年は、変わる。そして考えを、変える。

俺は、世界を呪う。

世界は俺を呪っている。

勝てないぶつかり合いだと理解して、他に俺は願う。彼女達に、幸せあれ、

俺と接してくれた、本当の友達に、祝福あれ、と。

俺と接したが為に、不幸に、ならないでくれ、と。

もう、今は彼らにどう思われてもしかたがない、と思う。だが、これだけは言わせて欲しい。

今まで、接してくれてありがとう。

楽しかった、あの一時を、ありがとう。

そして、ごめんなさい。

これが届いてくれれば、嬉しい。届かなくても願う。ひたすらに。

青年には過去がなかった。否、あった。

あったが、過去の記憶がなかった。

それ故に、自分という生き物がよく分からなかった。そして、青年にはやる気がなかった。何もする気になれない。

青年はふと思う。

いつからこうなったんだろう、と。

そして、

昔からこうだったかも知れない、と思う。

青年は、戦う。

過去と

未来と

そして何より、現在と。

残っているのは

忌まわしい記憶だけ。

残してきたのは自分自身。戦えるだろうか？
いつもそう思い、

戦い、

泣く。

勝っても泣く。

一人で泣く。

汚された、汚された。

唯一、俺が楽しめるスポーツクラブでさえ、声が聞こえる。最初は
かわいいだった。…が我慢できずににやけると、聞こえてくる。

死ねっ、臭いんだよ、しんしょう。

俺には、もう、居場所がないのか…。

にやけたくてにやけているわけではない、というのに。

臭わせたくて、臭いがする、というわけではない、というのに。

生き…これは…言えない。死にたい。

もう、疲れた。

死ねば、どんなに楽だろう、開放されるだろう。

俺は、俺は、俺は、

もう、疲れたんだ。

そして青年は苦汁の選択をする。

ふっきれて、

青年は成長した。

説明しても わかってくれる はずもなし

秋の夜風の木の葉舞う

きらめく夜空のぞきこみ

一人ふけこむ

青年がいる。

チャリこぎながら、

帰途に着く。

青年は思った。

にやけるのを我慢するのはもう、つかれた。あるがままにしよう。

そして青年は決めた。

しんしょうとして生きること。

一生しんしょう、

生涯しんしょう。

生涯しんしょう、

一生しんしょう。

少年は青年になった。

いろんなことを経て

何もするつもりがなくても時は無情に過ぎて行く。

青年は上を見た。

ゆっくりと…しかし確実に変化していく。

世界は空、雲は生き物。

じゃあ、自分はなんなんだろうと。

雲から外れたもの。

消えゆくもの、

薄いもの、

淡いもの、

霧かな。

そんなことを考えながら、いつの間にか、青年は大人になるのだろう。

あの日の悲しみ、憎しみは消えていく。

時とともに思い出とともにそして同時に忘れさられる

少年は、大人になる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1801d/>

俺は世界を呪う、世界は俺を呪っている 2

2010年10月15日09時05分発行